

赤ちゃんの特徴

私たち一人ひとりが違うように、赤ちゃんもそれぞれに個性があり、成長スピードもそれぞれです。成長に関するさまざまな情報を知っておくことも大事ですが、情報だけにとらわれ過ぎないようにしましょう。赤ちゃんとの時間は、そのときだけのものです。その瞬間を楽しみながら、大切に過ごしましょう。

0～2か月

産声から始まり、生まれて初めてのことばかりの赤ちゃんは、すべてを泣くことで伝えようとしています。この時期の「泣き」は、お腹がすいていたり、おむつが濡れていたり、疲れたり、飽きてしまったり・・・全てが赤ちゃんからのメッセージです。目はぼんやりしていますが、耳はよく聞こえています。鼻も発達してお母さんやおっぱいの匂いがわかります。



3か月～

3か月ごろには、相手を見分けることができるようになります。顔をじっと見つめたり、声のするほうを向くなど、周囲に関心を示します。4か月ごろになると、首がしっかりしてきてお母さんやお父さんの顔はわかるようになり、声を出しはじめます。それに答えるように、話しかけるなどしてコミュニケーションをとってみましょう。



6か月～

寝返りをする、体を乗り出す、しがみつくなど、お母さんやお父さんに近づこうとするようになります。しっかりと受け止めてあげましょう。お母さんやお父さんが気持ちにゆとりをもって、赤ちゃんがいることを楽しめるといいですね。離乳食もはじまるので、赤ちゃんの生活リズムをととのえていきましょう。



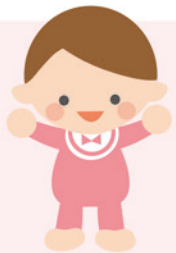
8か月～

お座り、ハイハイができるようになってきます。初めての場所で不安そうにしたり、人見知りをしたりすることもあります。成長の上で大事な発達のひとつです。周囲の状況を判断できていないときは、信頼できるお母さんやお父さんの反応を頼りにします。泣いてしまったら、抱きしめて安心させてあげてください。動きが多くなる時期なので、危険なものや小さいものは片づけるようにしましょう。



1歳半～

1歳を過ぎると、意味を持った単語を発するようになります。表現する力がまだ追いついていないので、ゆっくりと最後まで聴いてあげることが大切です。聴いて言葉を覚えていく時期になるので、耳を傾けて会話を楽しみましょう。また、自我が芽生える時期です。やりたいということを温かく見守りましょう。離乳食が完了するのがこの頃です。



乳幼児揺さぶられ症候群を予防しましょう

乳幼児揺さぶられ症候群とは、赤ちゃんが全身を激しく揺さぶられることで脳のまわりの血管や脳の神経が引きちぎられてしまうことです。赤ちゃんの頭は体に比べて大きく、揺さぶられることで脳自体や脳神経・眼の網膜などが傷つき、重い障がいが残ったり、命にかかわります。なだめても泣きやまないなどでストレスを感じたら赤ちゃんから少し離れて、気持ちを落ち着かせることが大事です。無理に泣きやませようとはせず、決して激しく揺さぶらないようにしてください。



「思い」の先にある 家づくりを



お子様連れでも安心して、
お家をご見学いただけます。

安心してご来場いただけるよう、
専任の保育スタッフがお子様を、
お預かりします。親御様はじっく
りでご見学・ご相談ください。
(※事前予約制)



【ハウスクラフト株式会社】ご予約・資料請求などはお気軽にお問い合わせください

HOUSE CRAFT

ハウスクラフト | 検索

建設業許可 国土交通大臣 許可(般-6)第29367号

- 菟野スタジオ 〒510-1233 三重県三重郡菟野町菟野 1503-1
- 四日市スタジオ 〒510-0828 三重県四日市市石塚町 5-3
- 鈴鹿スタジオ 〒510-0254 三重県鈴鹿市寺家六丁目 11-27
- 本社 〒510-1234 三重県三重郡菟野町大字福村 795-1

0120-54-2005 www.house-craft.jp

三重県内に全 18 棟のモデルハウスを公開!
住宅見学・相談をご希望の方はこちら

お客様の理想の暮らしを具体的にイメージできる住宅
見学会や相談会などのイベントをご用意しております。



まずは資料請求から

実際にお家を建てたお客様の声や
施工事例などカタログと一緒に
ご自宅へお届けします。

